

[補足] 田原市 上下水道事業の概要

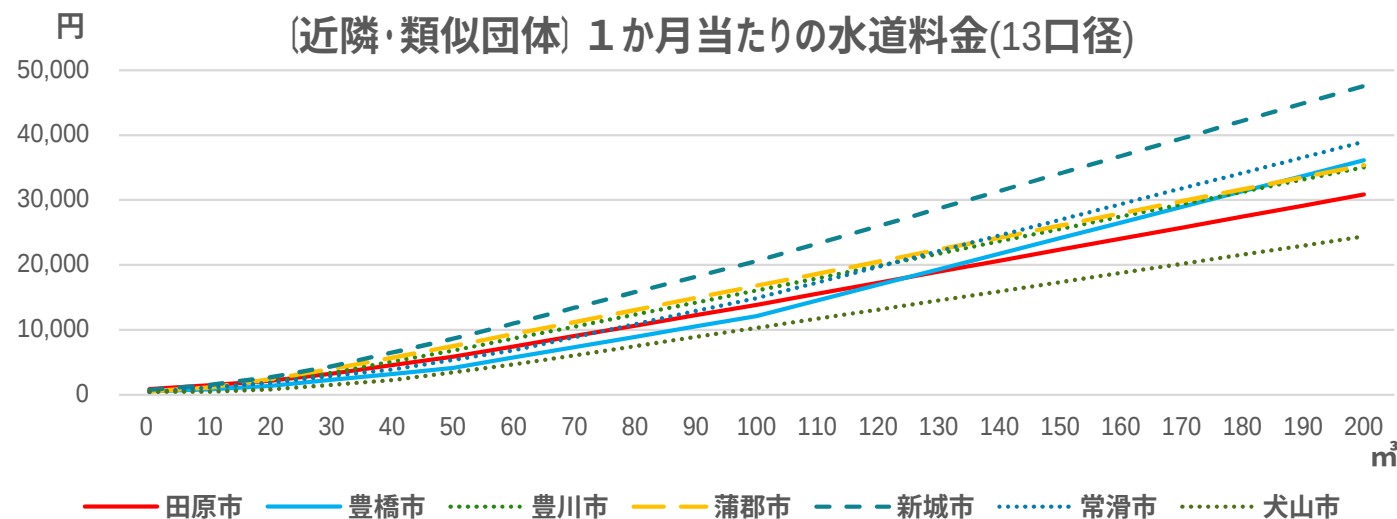
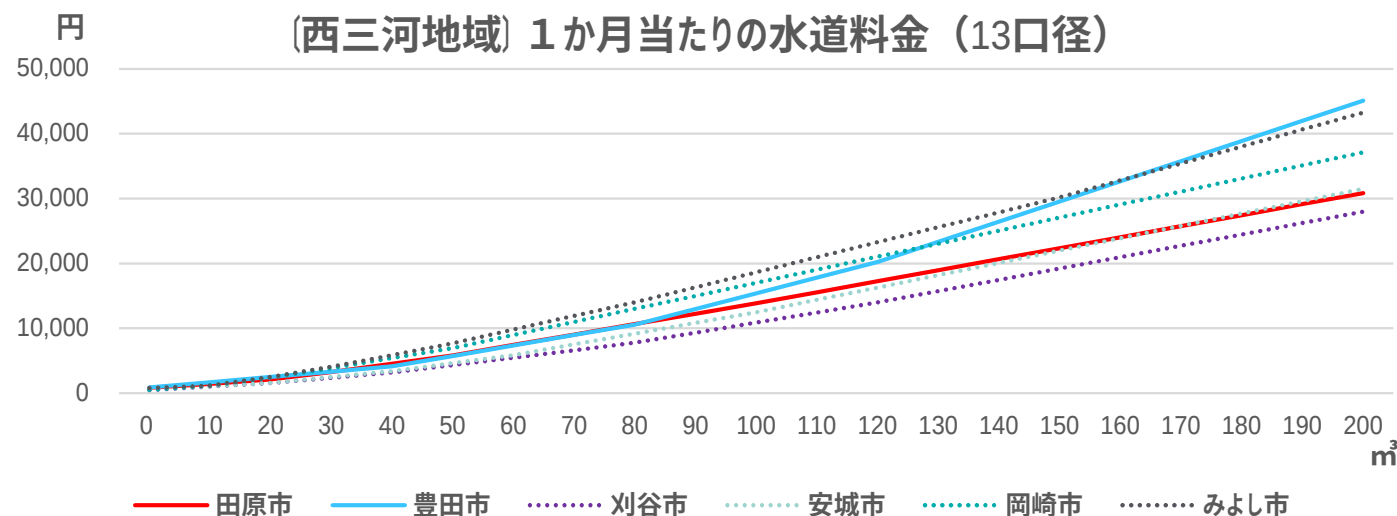
1. 西三河地域との料金比較
2. 留保資金の推移

田原市上下水道部

＊上下水道事業は公営企業会計を適用しており、『料金収入』で事業を運営しています。

1・1 西三河地域との料金比較

西三河地域の各団体とは、人口規模や供用開始年度等の諸条件は異なります。



〔13口径・料金比較 (税抜)〕

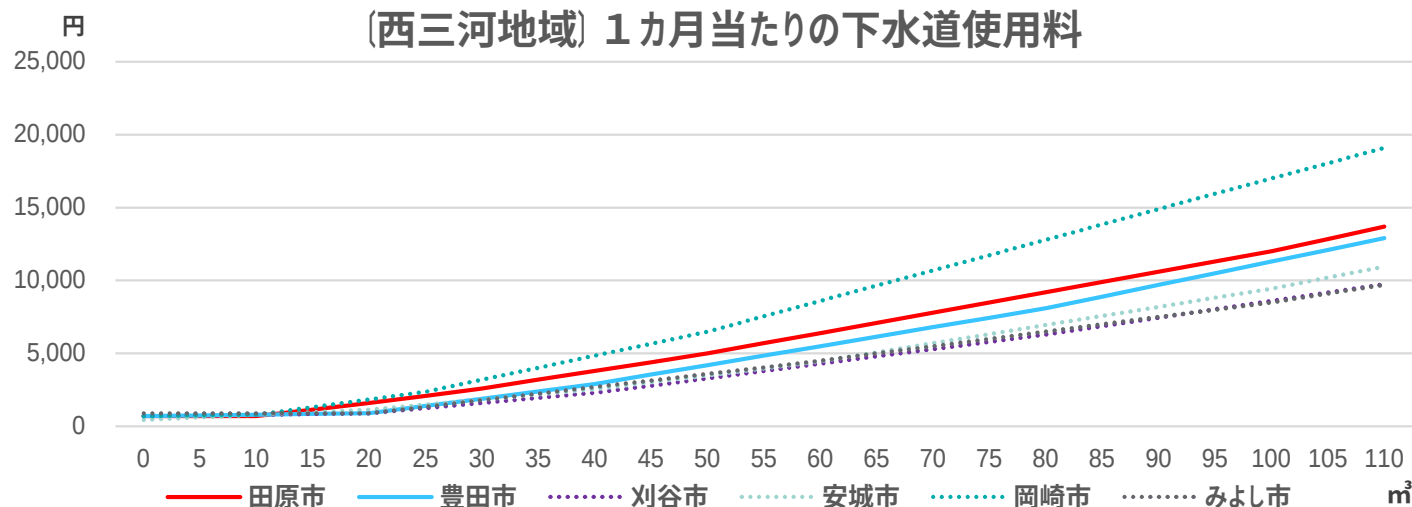
団体名	20m³	30m³
田原市	2,150円	3,250円
豊田市	2,510円	3,320円
刈谷市	1,590円	2,390円
安城市	1,600円	2,500円
岡崎市	2,440円	3,855円
みよし市	2,520円	4,080円

団体名	20m³	30m³
豊橋市	1,370円	2,290円
豊川市	2,000円	3,400円
蒲郡市	2,400円	3,960円
新城市	2,690円	4,390円
常滑市	1,860円	2,870円
犬山市	815円	1,525円

1・2〔公共下水道事業〕西三河地域との料金比較

西三河地域の各団体とは、人口規模や供用開始年度等の諸条件は異なります。

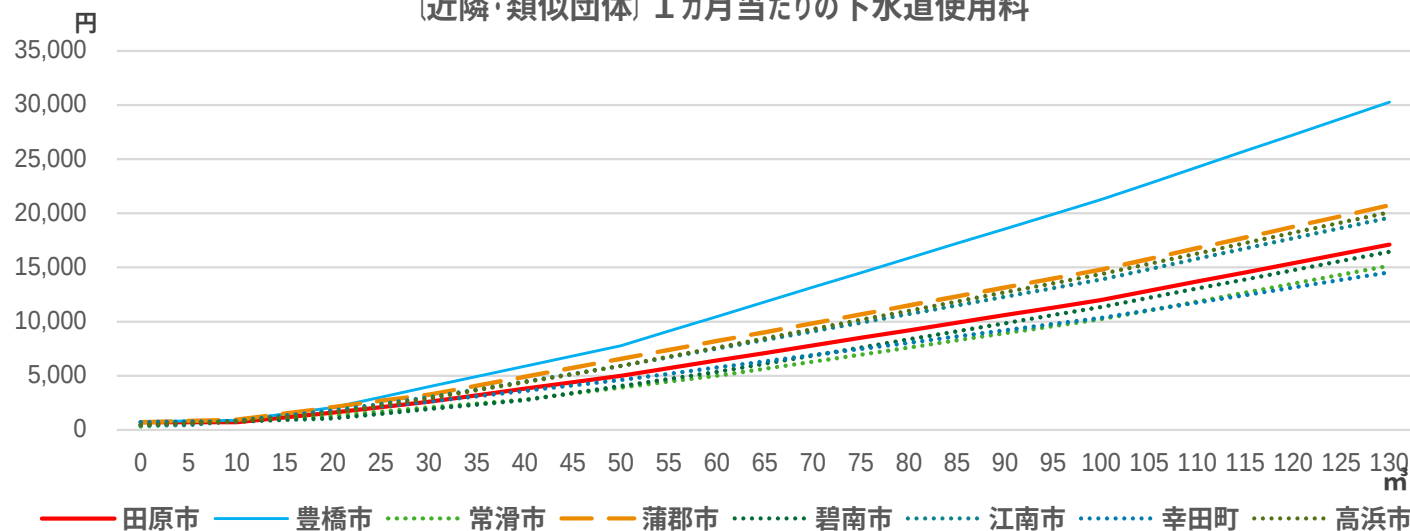
〔西三河地域〕1カ月当たりの下水道使用料



〔料金比較 (税抜)〕

団体名	20m³	30m³
田原市	1,600円	2,600円
豊田市	900円	1,900円
刈谷市	900円	1,600円
安城市	1,150円	1,850円
岡崎市	1,850円	3,200円
みよし市	900円	1,800円

〔近隣・類似団体〕1カ月当たりの下水道使用料

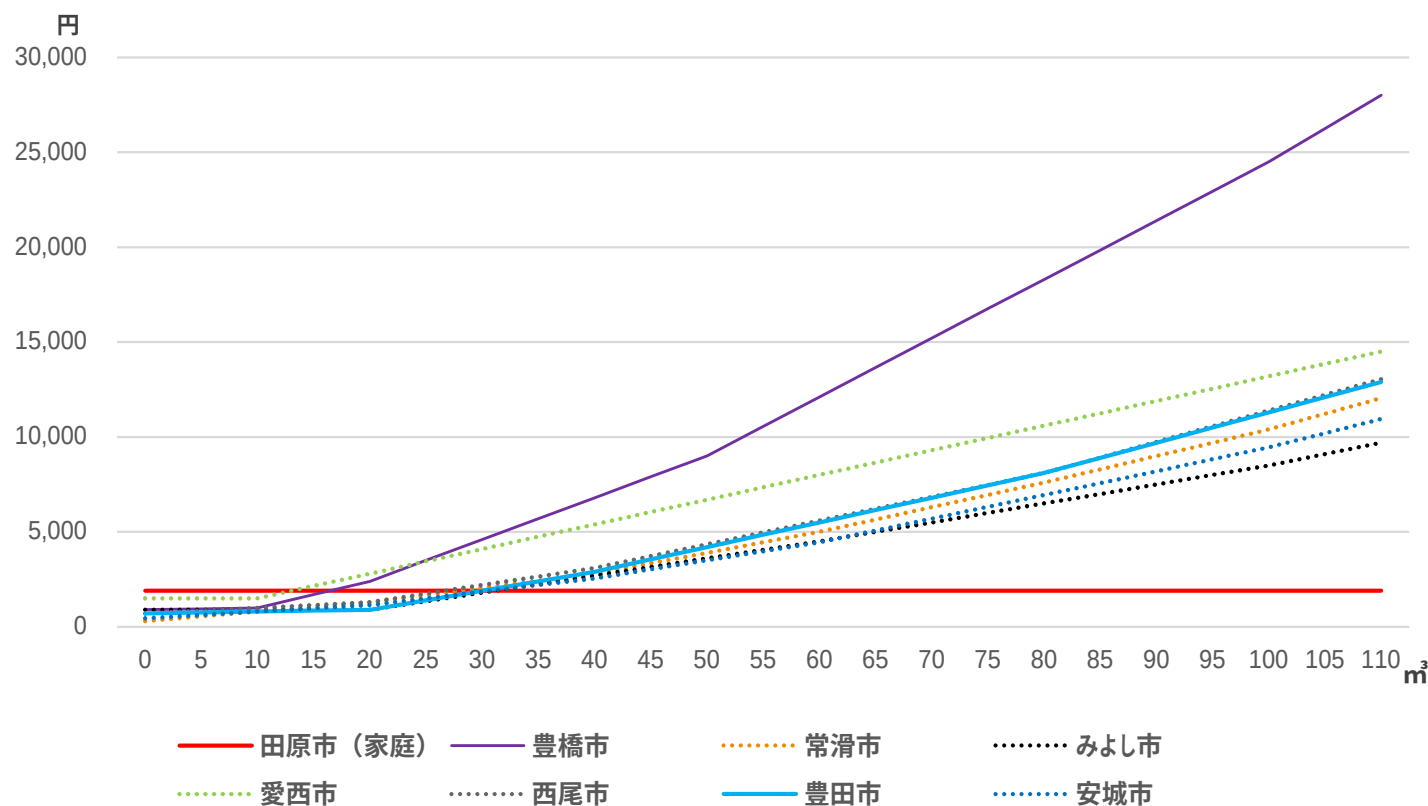


団体名	20m³	30m³
豊橋市	2,070円	3,970円
常滑市	1,300円	2,050円
蒲郡市	2,090円	3,250円
碧南市	1,050円	1,900円
江南市	1,800円	3,000円
幸田町	1,700円	2,600円
高浜市	1,600円	2,900円

1・3〔農業集落排水事業〕西三河地域との料金比較

西三河地域の各団体とは、人口規模や供用開始年度等の諸条件は異なります。

〔西三河地域・近隣・類似団体〕1カ月当たりの下水道使用料



〔料金比較（税抜）〕

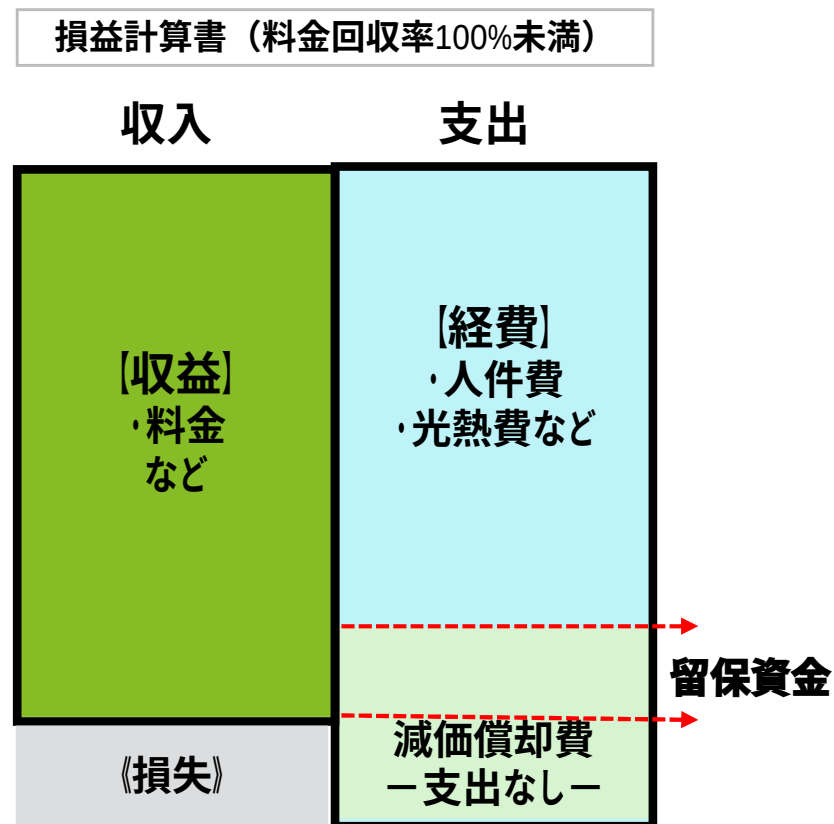
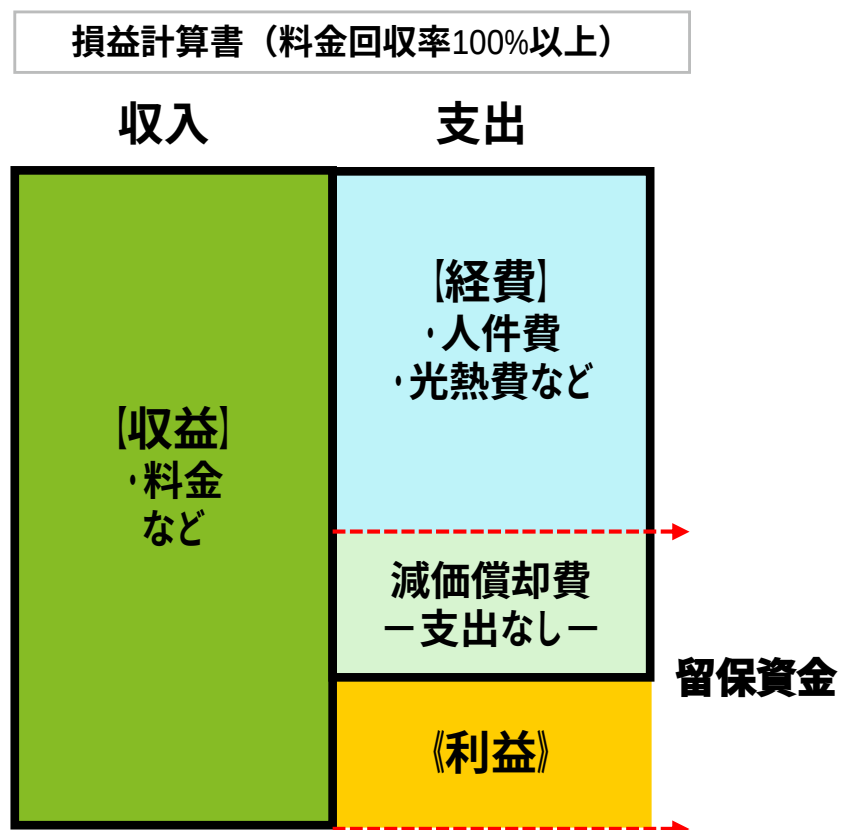
団体名	20m ³	30m ³
田原市	1,905円	1,905円
豊田市	900円	1,900円
安城市	1,150円	1,850円
豊橋市	2,400円	4,600円
常滑市	1,300円	2,050円
みよし市	900円	1,800円
愛西市	2,800円	4,100円
西尾市	1,300円	2,200円

（出典：各自治体HP下水道使用料表より作成）

2・1 料金で賄えていない部分は留保資金を充てています

留保資金とは

- ・ 利益は、維持管理費や更新投資に利用することができるため、留保資金となります。
- ・ 減価償却費は、支出のない経費であり、留保資金となります（将来の更新投資に使います）。



2・2 留保資金の積立額の推移

留保資金の推移

- 各年度決算の利益と減価償却費により積み立てた留保資金は、令和3年度末時点で15億円あります。
- 更新投資には留保資金を利用しますので、多額の更新投資を続けると留保資金は減少していきます。
- 直近6年間は、更新投資の財源に留保資金のほか、補助金や企業債で賄っています。計画を上回る補助金を得られたこともあり、留保資金は約2億円増加しました。

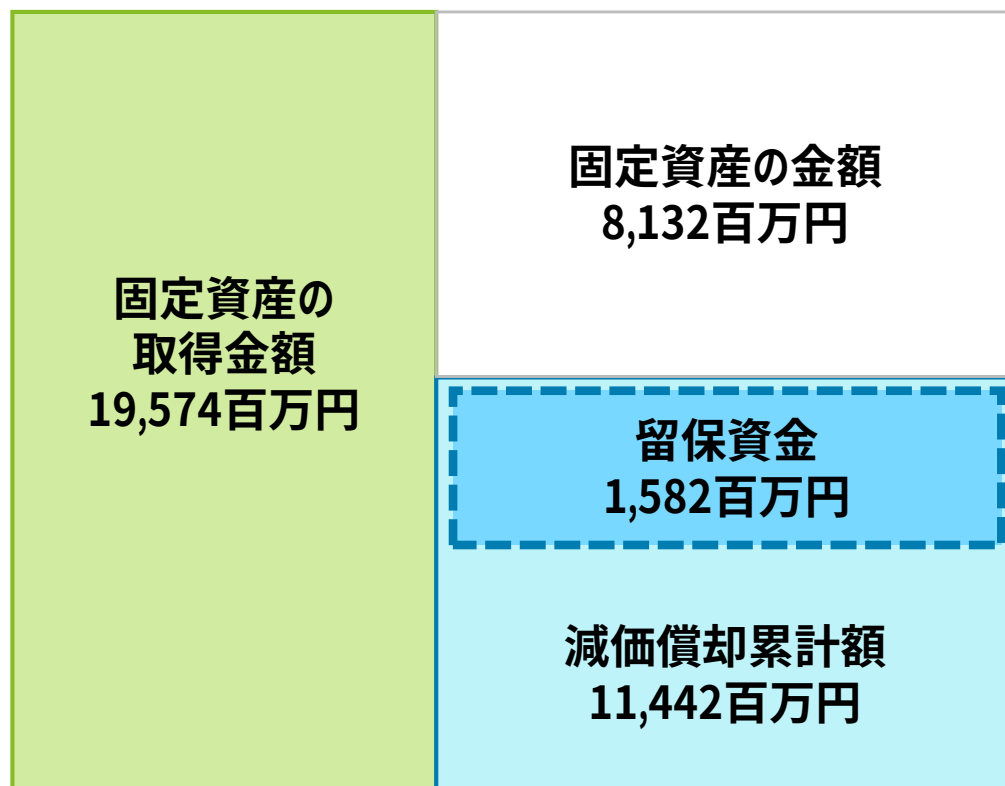


2・3 令和3年度末の留保資金の状況

水道事業の留保資金

- 各年度決算の利益と減価償却費により積み立てた留保資金は、令和3年度末時点で15億円あります。
- 減価償却累計額が多くなるほど、更新投資のための内部留保を多く積み立てる必要があります。

令和3年度末の固定資産（償却資産）



$$\text{固定資産の価値} = \text{取得金額} - \text{減価償却累計額}$$

減価償却累計額は、将来の更新投資のための内部留保となります。

令和3年度末時点で、減価償却累計額は114億円ありますが、留保資金は15億円（約10%）と留保資金は十分とはいえません。

留保資金を利用して、料金で賄えない経費を補填する状況は、更新投資のための現金預金を事前に使うことになるため、実際の更新の際に留保資金が不足してしまいます。

⇒必要な経費は料金で賄うことが必要です

2・4 下水道事業の留保資金の推移

留保資金の推移

- 下水道事業では、国の方針により企業会計を導入し、令和2年度から留保資金を管理しています。
- 料金で賄えていない部分は一般会計繰入金を受けていますが、企業債の返済に留保資金を利用しており、留保資金は増減していません。

